

日本地熱学会 IGA 専門部会
平成 22 年度総会資料

2010 年 11 月 26 日
(部会員へメール配信およびウェブ掲載を行う)

A. 平成 22 年度事業報告

1. 運営体制 (平成 21~22 年度)

部会長	内田利弘	(産総研)
副部会長	新妻弘明	(東北大学)
総務担当幹事	安川香澄	(産総研)
広報担当幹事	浅沼 宏	(東北大学)
渉外担当幹事	山田茂登	(富士電機システムズ)
会計担当幹事	藤光康宏	(九州大学)

2. 主な事業概要

(1) IGA News の電子配信 (4 回 : No. 78 - 81)

- ・ 日本関連の記事数
No. 78 (0 件)、No. 79 (0 件)、No. 80 (0 件)、No. 81 (0 件)

(2) IGA 理事会参加

- 1) 第 49 回 (5 月 1 日、インドネシア・バリ) : 安川、山田、内田出席
- 2) 第 50 回 (10 月 28 日、米国サクラメント) : 安川、山田、田籠、内田出席
- 3) 第 51 回 (10 月 29 日、米国サクラメント) : 安川、田籠、内田出席

4) 主な議事

- ・ WGC2010 の開催報告
参加者数 (約 3000 名)、論文数 (約 1030 件) とともに過去最高。収支は黒字。インドネシア地熱学会と IGA 間の覚書に従い、IGA に約 12 万ドルが支払われる見込み。
- ・ WGC2015 開催地の正式決定
WGC2010 閉会式で覚書が調印され、2015 年 4 月にオーストラリア・メルボルンでの開催が決定。ホスト国はオーストラリアとニュージーランドの共同。
- ・ 第 8 期 (2010-2013 年) の理事結果の発表。安川会員、田籠会員が当選。
- ・ 第 8 期の理事会体制

President:	Roland Horne (米国)
Vice President:	Colin Harvey (ニュージーランド)
Secretary:	Horst Rüter (ドイツ)
Treasurer:	Herman Darnel Ibrahim (インドネシア)
Audit Chair:	D. Chandrasekharam (インド)
Bylaws Chair:	Fernando Penarroyo (フィリピン)
Education Chair:	Juliet Newson (ニュージーランド)
Finance Chair:	Graeme Beardsmore (オーストラリア)
Information Chair:	Eduardo Iglesias (メキシコ)
Membership Chair:	Árni Ragnarsson (アイスランド)
Nominating Chair:	Kasumi Yasukawa (日本)
Programme & Planning Chair:	Paul Quinlivan (ニュージーランド)
European Branch Chair:	Miklos Antics (ルーマニア)
Western Pacific Branch Chair:	Herman Darnel Ibrahim (インドネシア)

- ・ IGA 事務局の移転

IGA 事務局は現在アイスランド・レイキャビク (Samorka 社) にあるが、2011 年 1 月 1 日にドイツ・ボーフム (Bochum) に移転する。ボーフム大学に国際地熱エネルギーセンターが設立され、その中に事務所を設置する。ドイツ政府が 5 年間の予算を負担する。現在、Executive Director と秘書を国際公募中 (11 月末まで)。

・ IGA Service Company の設立

IGA 事務局業務が増加した際に、それを補助するために、ドイツに IGA サービス会社 (IGA Service GmbH) が設立された (2009 年秋)。東アフリカ諸国を対象とする世銀プログラム ARGeo への対応などを想定している。

・ IGA ホームページの改訂

IGA ホームページが改訂され、会員専用のページ、地熱発電所データベース、地熱講演会論文集データベースなどが増強された。会員ページ用のパスワードを自分で変更できるシステムの追加が行われている。

・ 教育プログラム助成の増強案

WGC2010 の黒字のため、講演会・セミナーへの助成を増やすことが検討されている。

・ REN Alliance 等

IGA は、再生可能エネルギーに関する国際学協会との連携を強化するため、2006 年から Renewable Energy Alliance (REN) に加盟している。再生可能エネルギー関係の国際会議に IGA 代表が参加したり、セッションをオーガナイズしたりして、地熱の国際的プレゼンスを高める活動を推進する。

(3) IGA 西太平洋地域支部 (Western Pacific Regional Branch, WPRB) の活動

・ 2010 年は WGC2010 が開催されたため、WPRB の講演会・セミナーは実施されなかった。

2011 年の講演会は 11 月頃にオーストラリア・メルボルンで開催される予定。

・ 2011 年 4 月にフィリピンで Scaling/Mineral Deposition に関するワークショップを開催予定。地熱発電におけるスケール問題や対処法について各国の講演を期待している。4 月 27-29 日にマニラで開催される見込み。詳細は後日連絡がある。

・ 2008-2009 年の 3 回のセミナー教材 CD を販売中。IGA 専門部会員は各 50 米ドル、非会員は各 60 米ドル。ただし、第 1 回 (2008 年バリ島) は 2 年を経過したので、IGA ホームページで公開される予定。

・ 第 2 期 (2010-2013 年) 幹事の選出

第 2 期の幹事会 (Forum) メンバの選出が以下のように行われた。次回の WPRB 総会で正式に決定する。議長の Herman Darnel Ibrahim 氏を含め、Forum メンバは 7 名。

Graeme Beardsmore (オーストラリア)

Liu Jiurong (中国)

Sanusi Satar (インドネシア)

Kasumi Yasukawa (日本)

Colin Harvey (ニュージーランド) (Treasurer)

Larry Bayrante (フィリピン) (Secretary)

・ 地域支部の会費

WPRB の会費は、2007 年に徴収されて以降、2008-2010 年は徴収しないこととなった。CD 販売収入による財政の安定、セミナー講師の無償協力、少額の会費送金の煩雑さなどが理由。専門部会では、2008 年に WPRB 会費 4 年分を一括で納入してもらう方針であったため、すでに納入を済ませた会員が多数である。納入された会費の有効利用、あるいは返納について、今後検討する必要がある。

(4) その他の海外地熱関連情報の配信

- ・ 専門部会のホームページを改訂した。IGA 情報、WPRB 情報、海外の地熱情報について、コンテンツ追加を継続する。

3. 会計報告
(別紙 1 参照)

B. 平成 23 年度事業計画案

1. 運営体制 (平成 23～24 年度)

部会長	安川香澄	(産総研)
副部会長	田籠功一	(西日本技術開発)
総務担当幹事	内田利弘	(産総研)
広報担当幹事	浅沼 宏	(東北大学)
渉外担当幹事	山田茂登	(富士電機システムズ)
会計担当幹事	藤光康宏	(九州大学)

2. 主な事業概要

- (1) IGA News のメール配信 (4 回)
- (2) IGA、西太平洋地域支部の活動への協力
- (3) その他の海外学会との協力
- (4) 海外の地熱関連情報の配信、学会ホームページの更新
- (5) 地熱紹介パンフレット等の作成
- (6) IGA News 原稿投稿の勧誘

(参考) 2011 年に WPRB 講演会を開催予定であったが、WPRB との協議の結果、見送ることになった。

3. 会員数

IGA 専門部会の会員数は現在 105 名、うち、WPRB 会員は 67 名。

4. 会費

(1) 専門部会費

- ・現在の IGA 専門部会の IGA 加盟費は年間 1300 ドル (2008-2011 年の 4 年間の契約)。
- ・2009 年に IGA 理事会で加盟費の方針が変更された。新しい方針では、加盟費は先進国の場合、基本的に、会員 1 名あたり 10 米ドル (世銀定義の途上国 A は 5 ドル、途上国 B は 3 ドル)、あるいは、各学会会費の 15% のどちらか少ない方を選択する。ただし、全員加盟か任意加盟か等による不利益を避けるため、個別の協議も可能とする。
- ・専門部会は 2011 年までは 1300 ドルであり、2012 年以降の契約更新時に新たな加盟費を設定する。
- ・現在の専門部会費は、2000 円/年 (ただし、GRC 会員あるいはニュージーランド地熱学会会員は 1000 円/年)。
- ・2012 年以降は、例えば、GRC 会員割引をなくした平易な会費設定などを検討することが推奨される。

(2) 西太平洋地域支部会費

- ・WPRB 年会費は 2007 年に設定された。日本を含む先進国では 5 米ドル/年、入会費も 5 米ドル。専門部会では当初換算レート等を考慮して 600 円/年を設定した。
- ・専門部会は、1 年目 (2007 年) に会費を支払った (66 名分、330 ドル)。
- ・専門部会内では、2008 年から WPRB 会費の徴収を開始した。
- ・しかし、WPRB は 2008 年以降、既存会員については会費免除とした。ただし、新規会員は入会費を支払う必要がある。
- ・今後、当面は、WPRB は既存会員の会費徴収を行わない可能性大。

- ・部会では、会費の2008-2011年（4年間）の一括納入を推奨したため、2008年の会費免除決定の前に、4年間の会費を納入した会員が多い。

(3) 部会員の会費納入の現状と対応

- ・今期（2008-2011年）の会費納入の状況を把握し、未納者への支払い催促を行う。
- ・また、WPRB会費の既納入者への返金あるいは別途の還元方法を検討する。

5. 予算案

（別紙1参照）

以上

(別紙)

1. 日本地熱学会 IGA専門部会 平成22年度決算案

自 平成21年10月01日
至 平成22年09月30日

項目	予算	決算修正案	備考
収入			
専門部会活動費（地熱学会より）	100,000	0	
専門部会費	76,000	0	今期に振込まれた会費等
IGA個人会費預かり金戻入れ	194,000	194,000	引当金の戻入れ
西太平洋地域支部個人会費預かり金戻入れ	51,600	51,600	引当金の戻入れ
利息	300	94	
前年度繰越金	59,423	59,423	
合計	481,323	305,117	

項目	予算	決算修正案	備考
支出			
2010年IGA団体加盟費	130,000	0	支払いは2010年10月に予定
2010年西太平洋地域支部会費	39,600	0	
通信費	2,000	0	
西太平洋地域部会講習会	150,000	0	
IGA個人会費預かり金（前納22,23年度分）	120,000	194,000	前納分を引当金として支出計上
西太平洋地域支部個人会費預かり金（前納23年度分）	30,000	0	前納分を引当金として支出計上
予備費	9,723	525	振込手数料, 残高証明書
次年度繰越金		110,592	
小計	481,323	305,117	
剰余金/過不足	0	0	
合計	481,323	305,117	

注) 上記収支決算報告について、2010年10月に監査を受ける予定。

2. 日本地熱学会 IGA専門部会 平成23年度予算案

項目	予算	備考
収入		
専門部会活動費（地熱学会より）	100,000	
専門部会費	80,000	今期（2011年まで）の未納者分見込み
IGA個人会費預かり金戻入れ	194,000	引当金の戻入れ
西太平洋地域支部個人会費預かり金戻入れ	0	引当金の戻入れ
利息	300	
前年度繰越金	110,592	
合計	484,892	

項目	予算	備考
支出		
2010年、2011年IGA団体加盟費	260,000	
2011年西太平洋地域支部会費	0	
通信費	2,000	
西太平洋地域部会講習会	200,000	WPRB会費納入者への還元を含む
IGA個人会費預かり金（次年度分）	0	
地域支部個人会費預かり金（次年度分）	0	
予備費	22,892	振込手数料等
次年度繰越金		
小計	484,892	
剰余金/過不足	0	
合計	484,892	